

南葵徳川 音楽塾

和歌山県立図書館(本館) 南葵音楽文庫 閲覧室

申込について

閲覧室で聴講(15名程度)【事前申込不要】
南葵音楽文庫 閲覧室前で申込票に記入頂きます。

オンライン聴講(Teams配信)【事前申込要】

* 申込フォームは右記QRコード
または和歌山県立図書館「南葵
音楽文庫」ウェブサイトからアク
セスしてください。



<https://www.lib.wakayama-c.ed.jp/nanki/event/jyuku/>
折り返し、聴講のためのIDとパスコードをお
送りします。

* 開催回毎にお申し込みください(IDとパス
コードは各回共通ではありません)。

* 接続人数に制限があります。

* 資料送付は前日までに申し込みの方に
限ります。

申込受付:各回1ヶ月前～

問い合わせ先:

[TEL] 073-436-9520 (和歌山県立図書館)
[主催] 和歌山県立図書館

音のある南葵案内

毎月第3日曜13:30～14:30
南葵音楽文庫閲覧室



貴重な、珍しい、懐かしい楽譜や書物数点
を、関連する音や映像をまじえ、研究員が
易しく紹介します。 [無料・予約不要]

2026年

7月18日(土) 11:00-12:00

双青寮における 徳川頼倫の活動

新井美那 (和歌山市立博物館学芸員)

頼貞の父・徳川頼倫(1872～1925)は、育
英会、図書館、史跡名勝等の事業に尽力
しました。和歌浦の別荘・双青寮を拠点に
頼倫は、かつて紀州徳川家が治めていた
和歌山の歴史や文化を広める活動を行いました。双青寮に関
係する資料を紹介すると共に、頼倫の活動をふりかえります。



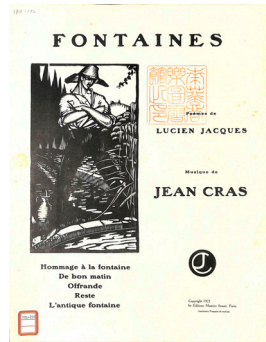
観海閣春望(双青寮廿一勝より)
和歌山城整備企画画誌蔵

9月19日(土) 11:00-12:00

海で戦う音楽家たち～クラス vs トラップ

近藤秀樹 (大阪教育大学・和歌山大学講師)

フランスの作曲家ジャン・クラスは本職が海軍軍人。第一
次大戦中は駆逐艦の艦長としてオーストリア海軍と激闘を
繰り広げました。このとき敵側のUボートを指揮していたの
がトラップ少佐。『サウンド・オブ・ミュージック』で《エーデル
ワイス》を歌った、あのお父さんです。この二人の海での戦い
と、その後の歩みを辿ります。



クラスの歌曲《泉》表紙
南葵音楽文庫蔵

10月17日(土) 11:00-12:00

南葵音楽堂パイプオルガンをめぐって ～オルガニスト木岡英三郎のご紹介～

千田寧子 (オルガニスト/玉川大学芸術学部音楽学科講師) 司会進行: 林淑姫
徳川頼貞は大正9年、南葵音楽堂にイギリスのアボット&スミス社
製パイプオルガンを設置しました。日本のパイプオルガン演奏の
草分的存在である木岡英三郎(1895～1982)は欧米で研
鑽中でしたが、帰国後にこのオルガンと関わっています。
木岡側に残る資料と木岡英三郎というオルガニストにつ
いてご紹介します。



写真提供:
オルガニスト木岡英三郎・梅子記念資料室

2027年

1月16日(土) 11:00-12:00

フェリックス・ワインガルトナーと日本

釘宮貴子 (ピアニスト/徳島文理大学教授)

ウィーン宮廷歌劇場の音楽監督を務めたフェリックス・ワインガ
ルトナー(1863-1942)は和歌や歌舞伎の独語訳を元に歌曲やオ
ペラを作曲しています。南葵音楽文庫に彼の《日本の歌》が所蔵
されており、この曲を中心に、日本文化の魅力がどのように歌曲
に反映されたのかについてお話しします。同時代のドイツ語圏の
作曲家による和歌歌曲にも触れたいと思います。



東京で交響楽団を指揮する
ワインガルトナー(1937年)

Simon Obert, Matthias Schmidt (Hg.).
Im Mass der Moderne. Basel: SchwabeVerlag, 2009, p.24.

2月20日(土) 11:00-12:00

カミングス文庫研究のこれまでとこれから

佐々木勉 (元名古屋音楽大学教授)

南葵音楽文庫の中核的な蔵書群である「カミングス文庫」の蔵書
目録が、『南葵音楽文庫紀要』第9号に掲載された「手写資料」及び
「一般書」編で完結しました(「音楽書」編、「印刷楽譜」編はそれぞ
れ同第4号と第8号に収録)。これを機に、これまで
のカミングス文庫の研究をふり返り、これから
の糧にしたいと考えます。



カミングスの蔵書票
とサイン

